

# 心の ともしび



暗いと不平を言うよりも  
すすんであかりをつけましょう

キリスト教の天国は、一人では実現できない。なぜならキリスト教では、人と人とが互いを受け入れ、愛し合うとき、そこに天国が生まれると考えるからだ。一人ぼっちの天国はありえない。聖書の中でイエスが「神の国はあなたがたの間にあるのだ」（ルカ17・21）と語っている通り、天国は、人と人とが手を携えて共に生きるとき、その人たちの間にあるものなのだ。はるかかなたの雲の上の世界ではないという意味で、天国は身近なものだ。だが、実際問題として、天国への道のりはなかなか遠い。愛し合うことの中に幸せがあると分かっていても、わたしたちは、つい競い合い、傷つけあってしまうことが多いのだ。

「共に生きる」という意味で「共生」という言葉がよく使われるが、実際にこの世界で目にするのは「競争」である場合が多い。どうしたら「競争」をやめ、「共生」を実現できるのだろうか。

競争が生まれる一つの理由は、何かを手に入れることが幸せだという考え方だろう。地位や財産、名誉などを手に入れることが幸せだと思うからこそ、それらを巡って争いが生まれる。だが、わたしたちの幸せは、何かを手に入れることの中にはない。自分

## 天国—身近で遠い？

かたやなぎひろし  
片柳弘史神父



のものにしようとしがみついているものから手を離し、それを誰かと分かち合うとき、わたしたちの間に生まれる愛。その愛こそが、わたしたちの幸せなのだ。

「わたしたちは、競い合うために生まれてきたわけではありません。愛し合うために生まれてきたのです」とマザー・テレサは言った。愛し合うために生まれてきた人間は、愛し合わない限り幸せになれないとも言えるだろう。共に生きる社会を実現するために、まず、わたしたちの幸せがどこにあるのかを確認することから始めたい。



ホームページ (<https://www.tomoshibi.or.jp>)



### 【「心のともしび」をクリスマスプレゼントに！】

機関紙「心のともしび」を離れて住むご両親、お子様、お孫様、ご兄弟姉妹、お知り合いの方々へのクリスマスの贈り物にいかがでしょうか。1年間の購読料1500円（税・送料込）であなた様の大切なの方々へお送りさせていただきます。ご送付を希望される方は下記の宛先までお申し込みください。クリスマス号（見本）と案内書をお送りさせていただきます。

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上ル 電話075-211-9341 心のともしび運動YBU本部